中小企業ブランドづくりの体験型プロジェクト 最終プレゼン大会 & 修了証書授与式

名古屋経済大学経営学部

学生と企業とのマッチングの場を通して 学生と企業の相互理解を高める

徐 誠敏 & 李美善



2019年 1月15日(火) 犬山キャンパス 7D3

<u>s-sungmin0703@nagoya-ku.ac.jp</u> <u>www.ssm-gcbm.com/</u>





Branding



らしさを生み出すブランドづくりを 企業と共に考える

体験型プロジェクトの成果と課題

Branding







体験型プロジェクトの成果



学生と企業とのマッチングの場を通して 学生と企業の相互理解を高めることができた



Creating a Win-Win Relationship





o@(^-^)@o

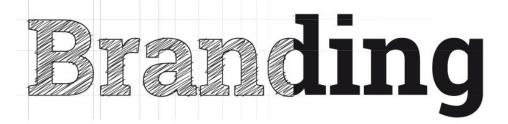






学生にとっての成果①





企業の視点から見たブランドづくりに関する

基本的な知識を身につけることができた。



出所: https://medium.com/your-brand/branding-versus-marketing-16d7b8012ec3(2017年1月27日確認)。







学生にとっての成果②





毎回、特定のテーマについて、グループワークを 行うことで、チームワークカや課題発見・解決 能力を高めることができた。



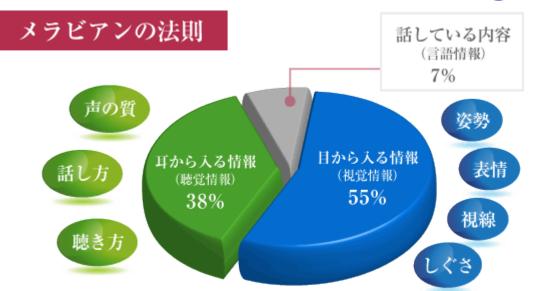






学生にとっての成果③





出所:skplan.main.jp/sunnyday/2015/12/31/post-4633/(2017年1月29日確認)。

極力文字数を減らして、図形の中に画像・写真を埋め込むパワーポイントを有効に 使いつつ、メラビアンの法則に基づいた プレゼンテーションができるようになった。





学生にとっての成果4



実際に企業を訪問し、ビジネス現場を知ることで 普段、テキストで学べないビジネス現場の声と



ブランディングに関する実践的な情報、知識、 ノウハウなどを身につけることができた。







学生にとっての成果(5)



株式会社ニックスと株式会社中島大祥堂の 関係者から、自社のブランド競争力や事業・製品 の内容をしっかり聴いてから、本質的な問題に 対して質問する力を身につけることができた。









学生にとっての成果⑥





今後学生が就職活動を行う際に必要不可欠な

パーソナル・ブランドづくりに関する基本的な

知識・ノウハウを身につけることができた。









企業にとっての成果①





名古屋経済大学の学生たちとの交流を通して、これまで自社では考えられなかった 学生(生活者)の視点から見たアイデア商品や 既存の製品の改善点を見出すことができた。



Customer Perspective







企業にとっての成果②





名古屋経済大学の学生たちからの意見を取り入れ 学生の視点から見た組織を活性化させる施策や 企業ブランド・イメージを見直すことができた。





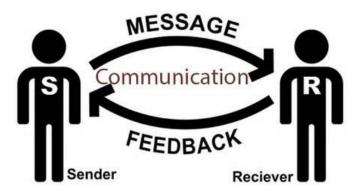






企業にとっての成果③





名古屋経済大学の学生たちと密接なコミュニケーションを取り、よい距離感を保ちながら潜在的能力が高い人材を見つけ獲得することができる。

HUMAN RESOURCES









今後の課題





本プランの履修条件は、従来の教養科目としての体験型 プロジェクトの枠を超え、現代企業の創業精神・経営理 念をはじめ、働く意義などを考えさせられるような場 づくりを目指しているため、経営学に関する基礎的な 知識をもっており、日本語を用いた言語能力が高い 2年生以上の留学生・日本人学生を獲得することである。







「らしさを生み出すブランドづくりを

企業と共に考える」体験型プロジェクト

最終プレゼンテーション大会の様子☆彡^-^☆彡



























1・2年前に本プロジェクトで優秀な成績を 収めた4年生の3名もそれぞれのチームの プレゼンに対するコメントと質問中*^-^*























根本チームのキョウちゃんのプレゼン中☆彡^-^☆彡



近年、増えつつある世界の糖尿病人口の 統計に基づいた潜在的なニーズについて 熱く語っているキョウちゃん☆彡^-^☆彡









(株)ニックスの柴田副長から プレゼンに対するコメントと質問中 * ^-^ *







最終プレゼン大会の優勝チームの

発表、賞品贈呈、懇親会★^-^★















らしさを生み出すブランドづくりを 企業とともに考える体験型 プロジェクトの修了証書





ブランド・スペシャリスト育成 第3号

修了証書

福手 崇博 殿

あなたは「らしさを生み出すブランドづくりを企業と共に考える」体験型プロジェクトを通して、ブランディングに関する基本的な知識を習得し、「株式会社ニックス」と「株式会社中島大祥堂」から学んだものづくりと市場づくりの競争力の現状把握と課題解決に意欲的に取り組まれてきました。ここに敬意を表するとともにこれを表彰いたします。

2019年1月15日 株式会社ニックス 株式会社中島大祥堂 名古屋経済大学 徐 誠敏 李 美善・ 経営学部准教授 ブランド・スペシャリスト育成 第3号

修了証書

福手 崇博 殿

あなたは「らしさを生み出すブランドづくりを企業と共に考える」体験型プロジェクトを通して、ブランディングに関する基本的な知識を習得し、「株式会社ニックス」と「株式会社中島大祥堂」から学んだものづくりと市場づくりの競争力の現状把握と課題解決に意欲的に取り組まれてきました。ここに敬意を表するとともにこれを表彰いたします。

2019年1月15日 株式会社ニックス 株式会社中島大祥堂 名古屋経済大学 徐 誠敏 李 美善経営学部准教授



2019年1月15日(火)、本学の犬山キャンパスにて



本プロジェクトの最終プレゼンテーション大会を行いました。

本プロジェクトを通してこれまで学んだのは次の通りです。

- ①企業と消費者の視点から見たブランドの定義
 - ②4つのブランド価値構造
- ③大企業と中小企業のブランディングの違いとその重要性
- ④今年創業65周年を迎える株式会社ニックスと創業106周年を 迎える株式会社中島大祥堂のブランディングの事例。

上記の2社の事例を通して、普段大学で学べないブランディング に関する実践的な知識を学ぶことが出来ました。









本プロジェクトのメンバーたちは、それぞれチーム皆一丸となって 切磋琢磨し合いながら、上記の学習を最大限に活用し、学生目線で 下記のユニークかつ個性的な価値提案を行いました。

①株式会社ニックスの「虫がイヤがる網やテープ」と株式会社中島大祥堂の「Hitotoe(ひととえ)」「DANKE(ダンケ)」商品に対する価値提案をはじめ、②自分の趣味(ボードゲーム)から思いついた新規事業への価値提案、③部門横断的な交流会や社員のモチベーションを促すことで、組織の活性化の向上につながる価値提案でした。









最終プレゼンテーション大会の審査は、次の6つの基準で評価し

ていただきました。その評価基準は、①分析力、②チームワーク

カ、③PPTの魅せ方、④プレゼンテーションカ、⑤提案力、⑥実

行可能性です。審査員は、企業の関係者の方々だけではなく、

1・2年前に本プロジェクトで優秀な成績を収めた

4年生の学生3名も加わっていただきました。









「らしさを生み出すブランドづくりを企業と共に考える」 体験型プロジェクトの受講者11名の学生たちをはじめ、

本プロジェクトの目標達成に積極的に協力してくださった

株式会社ニックスの青木 一英様、神田 雄介様、中山 厳様、

柴田 翔平様、株式会社中島大祥堂の中島 慎介様、手塚 慎二



様に心より感謝申し上げます。



